

第2次札幌市図書館ビジョンアンケート調査結果（概要）

1 調査目的

第2次札幌市図書館ビジョンを策定するにあたって、市内図書館の来館者及び市民を対象に、市立図書館の利用実態及び読書傾向、図書館へのニーズなどを把握するために、アンケート調査を行った。

2 調査の設計及び方法

(1)来館者アンケート調査

対象者：来館者（市内10箇所の図書館の来館者） 2,000人

調査方法：各図書館にて配布回収

調査期間：平成23年1月11日（火）～平成23年1月20日（木）

(2)市民アンケート調査

対象者：市民（住民基本台帳から無作為抽出した12歳以上の男女） 5,000人

調査方法：郵送による調査票の送付回収

調査期間：平成23年1月14日（金）～平成23年1月24日（月）

3 回収結果

	標本数	有効回収数	有効回収率
来館者	2,000人	1,654人	82.7%
市民	5,000人	1,351人	27.0%
合計	7,000人	3,005人	42.9%

1 読書について

1カ月の読書量について

【来館】	「1冊」が6%、「2冊以上」が89%（うち、「10冊以上」が27%）	報 P1
【市民】	「全く読まず」が27%、「1冊」が19%、「2冊以上」が54%	報 P1

〔施策への反映〕

来館者の約9割は、1カ月に最低2冊の本を読む。一方、市民の約7割は、1カ月に最低1冊の本を読むが、3割弱は全く読まないという結果。

図書館が、読書の楽しさ・魅力を積極的に発信していく（基本方針3 - 施策の方向性1）。

読むことになったきっかけ

【来館】	「図書館で見て興味がわいた」が6割弱、「書店で見て興味がわいた」が約3割。	報 P1
【市民】	「書店で見て興味がわいた」が5割強、「新聞や雑誌などの書評やおすすめを見て興味がわいた」が2割強。	報 P1

〔施策への反映〕

本を読むきっかけとして「図書館や書店で見て興味がわいた」「書評やおすすめを見て興味がわいた」が高い。

テーマ別に資料を紹介する（基本方針1 - 施策の方向性2）とともに、積極的に情報を発信する（基本方針3 - 施策の方向性1）。

2 図書館のサービスについて

サービスの認知状況

【来館】	次のサービスを4割の人が知らない。 「図書館職員による調べ物の相談」「視聴覚資料の視聴」「市外や大学の図書館との相互貸借制度」	報 P2
【市民】	多くのサービスを5割以上の人が知らない。 「身近な図書館への本の取り寄せ」「パソコン等での検索・予約」「図書館でのイベントの実施」「図書館職員による調べ物の相談」	報 P2

〔施策への反映〕

図書館の基本サービスが十分に知られていない。

図書館の魅力やサービスを積極的に発信する（基本方針3 - 施策の方向性1）。

充実を望む情報提供

【来館】	「おすすめの本の紹介」や「図書館内にある蔵書をテーマ別に紹介」が3割強、「特定のテーマを調べるために役立つ本を一覧にした『ブックガイド』」が約3割、「専門家による講演会」が2割強。	報 P3
【市民】	「おすすめの本の紹介」が4割弱、「特定のテーマを調べるために役立つ本を一覧にした『ブックガイド』」が3割強、「図書館にある蔵書をテーマ別に紹介」が3割弱、「専門家による講演会」が2割弱。	報 P3

〔施策への反映〕

「おすすめの本の紹介」「テーマ別の蔵書の紹介」「ブックガイド」「専門家による講演会」への希望が多い。

それらを充実させる(基本方針1 - 施策の方向性2、基本方針2 - 施策の方向性1)。

3 図書館の蔵書検索システムについて

蔵書検索システムに期待するサービス

【来館】	「蔵書検索の速度向上」が3割強、次いで「館内検索機で本がある棚の場所を明示」「簡易な蔵書検索」「インターネットでの貸し出し延長」の3項目が3割弱。	報 P7
【市民】	「簡易な蔵書検索」が4割弱、「館内検索機で本がある棚の場所を明示」「蔵書検索の速度向上」が3割強。	報 P7

〔施策への反映〕

「検索の速度向上」「簡易な蔵書検索」はサービスの基本的な部分であり、「棚の場所の明示」「インターネットでの貸し出し延長」は、レベルアップにあたる。

誰もが利用しやすいようシステムの向上を図る(基本方針2 - 施策の方向性2)。

4 電子書籍について

電子書籍への関心

【来館】	「 <u>読んだことはないが、読みたいと思う</u> 」は4割弱、「 <u>読んだことがあり、今後も読みたいと思う</u> 」が1割弱。 「 <u>読んだことはないし、今後も読みたいとは思わない</u> 」が4割強、「 <u>読んだことはあるが、今後は読みたいとは思わない</u> 」が1割弱。	報 P8
【市民】	「 <u>読んだことはないが、読みたいと思う</u> 」は4割弱、「 <u>読んだことがあり、今後も読みたいと思う</u> 」が1割弱。 「 <u>読んだことはないし、今後も読みたいとは思わない</u> 」が4割強、「 <u>読んだことはあるが、今後は読みたいとは思わない</u> 」が1割弱。	報 P8

読みたいと思わない理由

【来館】	「本を選ぶ楽しさがない」(37.3%)、「大切な本は紙書籍で保管したい」(27.2%)、「興味がない」(30.6%)	報 P8
【市民】	「大切な本は紙書籍で保管したい」(29.1%)、「本を選ぶ楽しさがない」(25.4%)、「興味がない」(36.8%)	報 P8

〔施策への反映〕

電子書籍を読みたいニーズ、紙書籍で読みたいニーズが拮抗している。

電子媒体と紙媒体の双方を用意していく必要がある。一方、電子媒体の導入には、整理すべき課題があり、研究を進める（基本方針1 - 施策の方向性3）

5 市立図書館の利用について

図書館に行く頻度

【来館】	「月に1回以上」が91%	報 P9
【市民】	「利用したことがない」が33%、「年に数回」が40%、「月に1回以上」が25%。	報 P9

〔施策への反映〕

年間の利用回数がゼロまたは数回の市民が多数いる。

利用者が増える余地はあるため、図書館の魅力やサービス内容について積極的に発信するなど、努力をする（基本方針3 - 施策の方向性1）。

利用する目的(単数回答)

【来館】	「読書を楽しむ」が49%、「生活や仕事に役立てる、教養を深める」が29%、「余暇を楽しむ」が10%、「子どもの読書を促す」が5%。	報 P10
【市民】	「読書を楽しむ」が46%、「生活や仕事に役立てる、教養を深める」が33%、「余暇を楽しむ」が13%、「子どもの読書を促す」が7%。	報 P10

〔施策への反映〕

「生活や仕事に役立たせるため」「教養を深めるため」「子どもの読書を推進するため」など読書を楽しむ以外の目的で利用する人が多いことが確認された。

蔵書構成は、幅広い分野に渡って充実させる（基本方針1 - 施策の方向性1）。また、イベントや講演会等のサービスを充実するなど、子どもから高齢者、障がいを持つ方まで誰もが気軽に図書館を利用できる環境を整備する（基本方針2 - 施策の方向性1、2）。さらに、子どもの読書活環境の充実に努める（基本方針2 - 施策の方向性3）

利用する資料(複数回答)

【来館】	「小説」が5割強、次いで、「歴史」、「手芸・料理」、「エッセイ」、「ノンフィクション」。	報P10
【市民】	「小説」が約5割、次いで、「手芸・料理」、「ノンフィクション」、「エッセイ」、「歴史」。	報P10

〔施策への反映〕

文芸(小説・エッセイ・ノンフィクションなど)が多いが、その他に社会・人文、暮らしや趣味など多岐にわたっていることが確認された。

蔵書構成は、幅広い分野に渡って充実させる(基本方針1 - 施策の方向性1)。

利用する図書館についての満足度

【来館】	「不満」+「どちらかといえば不満」が20%以上は、「本の種類・数」「図書館内で読書をする環境」「本を探しやすくするための館内表示」	報P11
【市民】	「不満」+「どちらかといえば不満」が20%以上は、「本の種類・数」「図書館内で読書をする環境」「雑誌、新聞の種類・数」「本を探しやすくするための館内表示」「視聴覚資料の種類・数」「講演会や展示」	報P12

〔施策への反映〕

蔵書構成は、幅広い分野に渡って充実させる(基本方針1 - 施策の方向性1)。また、誰もが利用しやすい環境の整備(基本方針2 - 施策の方向性2)や、専門家などによる講演会のほか、様々な展示を充実させる(基本方針2 - 施策の方向性1)。

利用しない理由

【市民】	「本は借りずに買うため」が37%、「テレビ・新聞・インターネットからの情報で十分」が23%。	報P13
------	--	------

〔施策への反映〕

「サービスの認知状況」という質問の回答にあったように、図書館の魅力やサービスを知らない方も多い。図書館は本を借りるだけの場ではなく、人と人が交流する場、新たな文化と出会う場(基本方針2 - 施策の方向性1)であり、それをPRすることにより、他の媒体だけではなく、図書館という媒体への利用を促す(基本方針3 - 施策の方向性1)。

図書館のボランティア活動への関心

【来館】	「興味がある」が56%（「本の整理・修理」「窓口業務」「絵本などの読み聞かせ」「イベントの企画・実施」「総合案内」	報P13
【市民】	「興味がある」が53%（「本の整理・修理」「窓口業務」「絵本などの読み聞かせ」「イベントの企画・実施」「総合案内」）	報P13

〔施策への反映〕

過半数の人が図書館のボランティア活動に対して関心を持っている。

さらなる利用率の向上や効率的な図書館運営のため、市民が活躍する場を検討する（基本方針 3 - 施策の方向性 2、3）。

6 図書館全体について

市立図書館に対する全体的な満足度

【来館】	「満足」+「どちらかという満足」が 81%。 「不満」+「どちらかという不満」が 11%。	報 P14
【市民】	「満足」+「どちらかという満足」が 43%。 「不満」+「どちらかという不満」が 13%。 「わからない」は 42.0%。	報 P14

〔施策への反映〕

市民の「わからない」の割合が高いこと、また、満足していない人が 1 割を超えることは、図書館サービスが十分に周知されていないことが一つの要因と考えられる。

図書館の魅力やサービス内容の積極的な発信と、認知度を確認するためにも、継続して調査を行う（基本方針 3 - 施策の方向性 1、2）。